

会員の ひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

夢の二拠点生活

札幌市医師会
木の花メンタルクリニック

にっ た いく こ
新田 活子

子供をのびのびと育てたいという希望から約15年前に一軒家を購入しました。子供のためを思っただけで、意外にもすっかり家庭菜園にはまっけてしまい、毎年春を楽しみにする生活となりました。しかし、夢中になればなるほど家の小さな庭では物足りなくなってきました。交通の利便性の良い立地重視で建てた家なので庭は狭く、すぐ南にも家が建っているため日当たりは朝夕しか望めません。おいしい野菜を作るには如何に日当たりが大切かということをおもひ知らされます。

ちょうどそんな頃に、二拠点生活のお師匠さんに会います。羊蹄山のふもとに広大な畑と家を持ち、札幌と行き来しながら様々なお野菜を育てている方です。何度かお邪魔させていただきましたが、景色は素晴らしく、採れるお野菜もおいしい。そんな素敵な生活にすっかり魅了されてしまいました。

とはいえ、フルタイム勤務の現状ではそんなに自由になる時間がありません。畑と往復するだけで何時間もかかるような所に土地を買っても到底お世話できないことが予想されます。場所を札幌市内に絞り、格安で購入できる土地を探すこと約半年。やっと素敵な土地を見つけることができました。木々が生い茂る札幌のはずれにあり、働きながらも手入れができる程度の広さの土地です。何十年と手入れがされていなかったため、雑草と木の根っこでひどい状態でしたが、コロナでどこにも出かけられない2年間を使って、野菜が植えられる土地に作り変えることができました。野菜だけでなく、桃、梨、ブドウ、リンゴ、イチジク、柿とたくさんの果樹も植えてみました。3年目の今年は本格的に収穫が望めるはずなので、ワクワクしながら春の準備をしているところです。

1/12計画

札幌市医師会
二十四軒メンタルクリニック

たきざわ しゅういち
滝沢 修一

ことの始まりは、玩具量販店で投げ売りのバイク模型を気まぐれで買ったことからでした。1/12スケールのスズキKATANAをしばらくクリニックに飾っていましたが、次男が欲しがるので家に持って帰ったところ、予想を超える自由な遊び方をします。ちょうど家にある適当な人形などをバイクに乗せてみると、意外とよく合っているもので、他にもよい組み合わせがないかと、ちょっと調べてみました。わが国のミニチュアの主流となっているのは1/12スケールらしく、特にバイク模型の大半はこの大きさであることを知りました。また、同じスケールの精巧にできている日用品ミニチュアも数多く売られており、このスケールでいろいろ揃えると、ツーリング風景だけではなく、自宅でのくつろぎも、野外でのバーベキューも、ゲームセンターでの遊びも、好きなように再現できることが分かりました。その後、コツコツと1/12スケールのバイクや自動車や日用品や乗せる人形などを買い揃え、とりあえずはホンダMONKEYやホンダGORILLAにチンパンジーやゴリラの人形を乗せて診察室に飾っております。先日、1/12スケールの戦車を中古で購入したところ、全長88cmという巨大な品が届き、置き場所に困った末、戦車に書類棚のほとんどを占拠されている状況となりました。そろそろホンダMONKEYに載ったチンパンジーたちを飾り始めて2ヵ月を過ぎましたので、今後は、アーケードゲーム筐体のプラモデルを組み上げてゲームセンターを再現したり、排気量や年式によって何種類もあるカワサキNINJAにいろいろな忍者の人形を乗せるなどの、新しい展示内容を考えてみると思います。



血圧が気になるあなたへ： プールより愛をこめて

北海道大学医師会
北海道大学医学研究院

ささもり ひとみ
笹森 瞳

高血圧。最もよく聞く持病のうちのひとつだろう。高血圧治療ガイドライン2019の試算によると、人口1億2,500万人のわが国において、高血圧の人は4,300万人いるらしい。つまり国民の約3人に1人は高血圧ということだ。私自身は、マラソン、登山、水泳、スキーといった持久系スポーツを愛好していることもあり、血圧は低め、心拍数は少なめであるが、毎年1歳ずつ年を取るにつれて同世代（アラサー）でも徐々に高血圧を指摘される人が出てきている。

さて、先日、久しぶりにプールへ泳ぎに行った時のことだ。泳ぎ始めてしばらくして、尿意を感じた。そして、その日の夜から翌日にかけて、尿量が多い気がした。体重は確認していないので分からないが、体が軽いような気もした。その後も、週に数回プールに行っていると特にプールで尿意を感じないが、久しぶりに泳ぐと当日と翌日の尿量が多いように感じた。また、同じ練習内容でも、深いプールでは浅いプールに比べて、尿意が強い気がした。

気になって調べてみると、心房性ナトリウム利尿ペプチドがかかっているようだ。プールに入っていると静水圧の影響で静脈還流量が増え、心房性ナトリウム利尿ペプチドが出るらしい。週に数回泳いでいると、常にこのペプチドホルモンが出ている状態になるが、プール通いの間隔が空くと、このペプチドホルモンがいったん引っ込んで、泳ぐと再び出てくるのだろう。そして深いプールでは静脈還流量もより増えるだろうから、体感したことに説明が付くことになる。

市民プールは1回数百円、荷物は水着と帽子とゴーグルのみ、屋内プールなら年中天候の影響を受けない水泳。泳がなくても、水中歩行だけでも十分。ケガのリスクも少ない。スキーに比べて、なんと手軽なことだろう。こんな手軽な水泳で天然の利尿効果を得られる。というわけで、血圧が気になる人を見つけたら、「プール行こう」ばかり言っている今日この頃です。

スキー紀行

岩見沢市医師会
かまたクリニック

かまた まこと
鎌田 理

冬になると毎年スキーに出かける。土日一泊でニセコ、十勝サホロリゾートで滑ってくるのがお決まりとなった。それにしてもニセコの変貌はもの凄い。1991年、倶知安に勤務していた頃。ヒラフのゲレンデはもともと広いがリフトの運営会社が高原とアルペンとで別だったので例えば高原のリフト券でアルペンのリフトには乗れない時代であった。今では全山共通リフト券があり、ヒラフ、東山、アンヌプリ、花園全て1枚で利用できる。変わらないのは最高の雪質であろう。温暖化 といってもあと10数年は大丈夫だと思う。因みにナイター料金は¥1,000であった。2000年代前半、仕事と生活の場が岩見沢に固定となった。この頃JR北海道に「手ぶらスキップニセコヒラフ」というかなりお得な切符があり、日曜日に日帰りでも毎年数回利用して楽しんでた。オーストラリア人が増えてきたのもこの頃、2000年代後半になるとこれにアジア系のスキー客が加わって、ゲレンデも大人数、聞こえてくるのは圧倒的に日本語以外の会話である。スキー場周辺は毎年ホテルやらコンドミニアムやらが新しく増えていてこれはコロナ禍の現在でも外資系の投資は止まらないようである。2010年代手ぶらスキップが廃止となり、マイカーで土日一泊でのニセコエンジョイが定着した。一変したのはコロナである。ゲレンデから外国人がいなくなって、日本人はもともと少ないのでここ2シーズンはリフト・ゴンドラの待ち時間はほとんど無し、感染対策で利用人数も2名までなので快適である。くどいけど変わらないのは最高の雪質である。今シーズン一泊利用したのは 倶知安町の無人ホテル、オンラインで予約決済、チェックイン・アウトも端末で無人。部屋は新しくIH調理器、カトラリーも備え付けで数日でも十分暮らせそうである。各部屋にChromecastが標準装備されていたのでfire tv stick持参しなくてもprime videoやwowowを映すことが可能である。これで2名一泊駐車場込みで¥13,000でお釣りがくるので助かる。土曜日、仕事を終えて岩見沢を出発すると午後3時台、遅くとも4時には倶知安町に着く。無人ホテルにチェックインして花園スキー場のナイターへ、今シーズンはゴンドラが新設されていた。リフトもオンラインチケットを利用すると次回からは駐車場からゲレンデに直行できるそうである（実際翌日日曜日、センターに寄ることなくスキーを楽しめた）。花園の新設ゴンドラであるが距離が短く、人によっては2回くらい滑ったら飽きてくるのでは？花園からはリフトを3基乗り継いでヒラフ高原ゲレンデに出る。今シーズンは2回ニセコに来ることができた。また来シーズンも最高の雪質を楽しみたいと思う。

「すごい」がすごい、虫の本

札幌市医師会
札幌清田病院

ごとう よしろう
後藤 義朗

『香川照之の昆虫すごいぜ!』は、カマキリの着ぐるみで登場するカマキリ先生が昆虫の生態を紹介する番組で(2016年10月からEテレで放送開始)、その内容をまとめた特集号が出版された¹⁾。地域限定版の特製ブックカバーには地域を代表する昆虫を選んだ。北海道はエゾセミだ。

カマキリ先生はホワイトボードで説明し始めるともう自分の世界だ。トークはカットされるが、虫好きの「すごさ」は十分伝わる。虫取りのロケの際、スタッフが先に見つけると、その悔しさを顔一杯にした「虫屋」へと変わるのも面白い。2022年新年の特集は「ザ・完全変態」と、チョウが冬を過ごすサナギを観察することから始まった。春や夏の続編が楽しみだ。

かつての昆虫少年は虫の音に心が騒ぐ。昨夏は6月の急な暑さで慌てて鳴き始めたセミも、7月の涼しさで、鳴りを潜め、秋の虫の出番になった。

虫好きの究極型は「虫屋」だ。「虫屋」の定義は、『昆虫を愛し、こだわりをもって、その観察・捕獲・飼育・育成・標本作成・研究などを趣味とする人のことで、単に「虫好き」や「昆虫マニア」という言葉とは異なり、昆虫に一定程度のこだわりをもって、主にポジティブに使われる』²⁾とある。まさに、これが虫屋の「こだわり」で、昆虫少年はそのサナギなのだ。

世の中には虫屋が多い。朝日新聞に「新・ドリトル先生物語」を執筆中の生物学者福岡伸一氏もその一人。「ドリトル先生航海記」を読んで生物学者になり、ダーウィンが訪れたガラパゴス諸島を巡り、自分の動物記を書いた。また、昆虫エッセイストの奥本大三郎氏は、ライフワークでファール昆虫記を完訳したが、『蝶の唆え』³⁾の自伝エッセイで昆虫愛を著した。虫屋は自分の道を貫くのだ。一方で、現役の昆虫少年といえば、小学校6年の柴田亮氏だ⁴⁾。昨年の4月、米生態学会の「エコロジー」にカブトムシの観察記録が掲載された。夜行性のカブトムシが、昼でも庭の木(東南アジア原産のシマトネリコ)にいることを不思議に思い、昼夜の数を毎日記録した。昼でも活動する理由を、共著者山口大の小島渉氏が語った。「光、温度、餌で習性が変わる、日本のカブトムシが外来植物と出会い、本来なかった習性が引き起こされたのでは」と。つまり、昆虫は生き抜くための多様性を持つ。確かに、カマキリ先生も、地球上にいる生物約170万種のうち100万種以上が昆虫で占められ、環境に合わせ、姿、生き方を変えて

も生き残るという多様性に富む」とも語る。

夏の書店には虫の本が集まる。書名に「すごい」が目立つ。2013年には図鑑で『イラスト図解 昆虫はすごい!』(宝島社)、2014年には『昆虫はすごい』(光文社新書)が出版された。この「すごい」は昆虫の世界での常套語なのだ。本を検索すると、「すごい」だらけ。『ウニはすごい バッタもすごい』(中公新書)などは二回も重ね、むしろ虫屋の語彙力が低いかもしれない。辞書での「すごい」は、「恐ろしい、気味が悪い」と「驚くほど程度が並外れている」の二つがあり、昆虫の世界では当然後者の引用だ。

虫屋が納得する「素敵」の意味は、通常の読者と違う。異次元でマニアックな『世界の美しすぎる昆虫』(宝島社)もある。『ミラクル昆虫ワールド コスタリカ』(ナショナルジオグラフィック社)は横文字だが、副題は「ヘンな虫、スゴイ虫」と添えられて、やはり「すごい」が効果的なのだ。『昆虫超最驚図鑑 小さいけど凄いやつら』(永岡書店)は、漢字が読めない良い子でも、「230匹」の数字が光っているから「すごさ」が伝わる。虫好きが集まった鼎談⁵⁾は、虫愛の強さが輝くが、少々マニアック過ぎて、虫屋しかついていけない。

その昔、ノートの表紙に昆虫が鎮座したジャポニカ学習帳があった。2012年廃版となったが(Amazonで復刻版を販売中)、親御さんから、気持ちが悪いとのクレームで絶滅した。大人の偏った常識で子供達の純粋な「虫愛」を潰してはならない。虫屋の広報活動上将来的な課題だ。

思えば、筆者の虫へのこだわりも異常だ。その昔、まともな標本はできなかつたのに、クワガタ、蝶、トンボに憧れた。虫好きなのに部屋に舞い込む突然の訪問者は好きになれないのも矛盾だ。息子は小3時バッタの脱皮の観察ノートを残したから多少は虫愛が伝わったのかもしれない。かつての昆虫少年は、図鑑の写真の虫と一緒に走り回るのが好きだ。でも、昆虫の方から冷たい視線を感じる。

「あんたは『ほんの虫屋』やないか」

<参考>

- 1) カマキリ先生著 NHK香川照之の昆虫すごいぜ! 図鑑 vol. 2 NHK出版 2021
- 2) 高田兼太:「虫屋」とは? -リフレームによる言葉の分析 きべりはむし37(1) 36-38, 2014
- 3) 奥本大三郎著 蝶の唆え 小学館 2020
- 4) 柴田 亮、(杉戸町立杉戸第三小学校)、小島渉(山口大学): An introduced host plant alters circadian activity patterns of a rhinoceros beetle (外来植物がカブトムシの概日活動パターンを変化させる) Ecology 2021
- 5) 丸山宗利、養老猛司、中瀬悠太 「昆虫はもつとすごい」 光文社新書772 2015

「八雲」名の一考

根室市外三郡医師会
町立別海病院

やまうち
山内
おさむ
修

昨年(2021)、私は島根県に旅行に行きました。松江城を見学した後に、隣にある小泉八雲記念館に入ってみました。妻の希望の所にて同行した次第です。八雲は「耳なし芳一」しか知らない私でしたが、その記念館が面白く、印象的でしたので、別海に帰ってきてから調べてみました。

結婚して小泉姓となり、名を八雲としたラフカディオ・ハーン。彼は1850年6月27日、ギリシャのレフカダ島で誕生。2歳の時に父(英軍医補)の転任でアイルランドの父の実家に移ります。英語が話せないギリシャ人の母は6歳の時に故郷(希臘)に帰ってしまいます。また、父親はかつての同級生と再婚したため、7歳で両親に捨てられたハーンは、父方の大叔母に引き取られました。11歳でフランス、13歳でイギリスの神学校に入り、16歳の遊戯中にロープの結び目が左目に当たり失明。19歳時、大叔母の縁者の勧めで移民船に乗りアメリカに渡ります。赤貧のフリーター後、24歳時シンシナティで新聞記者となり、ある程度成功します。しかし、混血黒人との結婚に読者の反感(人種差別)強く解雇。その結婚も半年で破局し、再び放浪と新聞寄稿・翻訳生活になりました。滞在地のカリブ海に浮かぶマルティニーク島などを書いた長編紀行文が、アメリカの編集長の目に留まり(37歳)、ハーンの日本への取材企画が通ることになります。その時期、アメリカでは1876年のフィラデルフィア万博、1884年のニューオーリンズ市制100年記念博覧会などでジャパン・ブームが起こっていました。ハーンは日本の取材を3週間程度と考えて、1890(明治23)年4月、39歳の時に日本の土を踏みます。

日本の珍聞奇談を売ろうとやって来た、押しかけ突撃ルポライターである隻眼ハーンせきがんの生活は、毎日が無一文状態でした。そこで文部省の服部一三が松江の尋常中学校の英語教師の職を探してくれたのです。服部氏はニューオーリンズ市制100年記念博覧会で新聞寄稿時代のハーンと会っており、帝国大学教授のチェンバレン(「古事記」の翻訳家)からハーンの職探しを頼まれていたようです。同(明治23)年8月・40歳時に松江へ赴任し教鞭をとったハーンは、生徒たちから「へるん先生」と慕われます。翌1891(明治24)年1月、ハーンは18歳年下の小泉セツと筑道湖湖畔の家で同棲生活を始めます。松江に来て1年3ヵ月後の1891年11月、熊本の第五高等中学校(現・熊本大学)の英語教師になりました(大栄転)。その後ハーンは神戸の新聞社勤務を経て、東京帝国大学と早稲田大学の講師になっていきます。1896(明治

29)年に小泉セツと正式に結婚し「小泉八雲」と改名。日本に帰化し、三男一女をもうけました。1904(明治37)年9月26日死去・享年54歳でした。

次に、ラフカディオ・ハーンの名前の由来などを紹介します。出生地のギリシャのレフカダ島は、当時・英国が植民地支配をしていた所です。ラフカディオの名はこのレフカダの英名アイルランドに因ちなんでいるようです。ハーン家代々の紋章(愛蘭土)は三羽の白鷺きぎです。ハーンは松江での正月に紋付袴姿を披露、紋は「鷺の下げ羽」の日本風デザインとのこと。松江で「へるん先生」と呼ばれたのは、英語講師の契約書が「ヘルン」とカタカナで書かれていたためです。彼はこの呼称を大層気に入り、ひらがなで「へるん」の円い判子はんこまで作っています。ちなみに鷺は英語でheron、発音が似ていたから気に入ったとも。熊本時代(1893)に長男・一雄、誕生。ラフカディオの「カディオ」から「かずお」とのことです。

ここから、私の八雲の名前に関する推察です。「八雲」の名は、小泉セツの養祖父・稲垣万右衛門の命名です。『古事記』内の日本最古の和歌「八雲立つ出雲八重垣……」から取って名付けたようです。

ここで、私は「八雲」を「八雲」と読んでみました。そして①「八」の上をつけてカタカナの「へ」に、②「八」をカタカナの「ハ」と読んでみました。

①「八雲」→「へウン」→「へるん」

②「八雲」→「ハウン」→「ハーン」

自分の名前や紋章にこだわり続けてきた八雲です。①②も考慮し、自分が納得する名前として「八雲」を「良し」としたはず、と私は考えています。この推察は、私が調べた物には書いてありませんでした。もしありましたら、ご連絡ください。

ラフカディオの出生島・レフカダは、古代ギリシャ語で「彷徨(ほろころう)」を意味しているとのこと。放浪生活が長かったハーンの頭の中では、①の「へウン」は「ヘヴン(heaven・天国)」に繋がったのかもしれませんが。

〈参考〉

- ・芦原 伸著「へるん先生の汽車旅行」。
- ・小泉 時・凡共編「文学アルバム 小泉八雲」。
- ・小泉八雲記念館・展示物。



ヒット曲に垣間見る ラテンのリズム

小樽市医師会
北海道済生会小樽病院 重症心身障がい児(者)施設みどりの里

おと い ひで と
乙井 秀人

80年代から洋楽を聴くことにはまり、以降今までずっと聴き続けてきました。主にアメリカ(ビルボード)やイギリスのヒットチャートを追いかけて、その時々流行している曲を聴いてきました。その中で以前よりちらほら見られるようになったのがスペイン語で歌われる曲です。英語で歌われる曲のリズムとは異なり、聴いてすぐわかるラテン系のリズムで、ヒットチャートに新しい流れが来ているのを感じます。

世界のスペイン語人口は約4億8000万人¹⁾、スペインのみならず中南米や米国でも話されており、話者の多い言語です。米国内のスペイン語人口は年々増加しており、特に南西部は4~5人に1人はスペイン語話者です^{1) 2)}。米国ではスペイン語人口がスペイン本国を越え、今後更に増える見通し、との記事もありました³⁾。ラテン系のヒット曲が多くなる背景にはこのようなことも関係しているようです。

スペイン語で大ヒットした曲としてはBailando (2014)⁴⁾や Despacito (2017)⁵⁾などがあります。結構ノリが良いので、今まで全く聴いてこなかったラテン系の曲などにも興味が出て聴いてみるようになりました。スペインでヒットしたLa Bicicleta⁶⁾やLa Gozadera⁷⁾など、なかなか良い曲が見つかり、新たな音楽の世界を開拓し聴く楽しみを見出しました。

さて、このラテン系の曲のノリが良い理由、ラテン系の曲がラテン系たらしめているものは何だろう、と考えると、ラテン系の曲の多くは独特のリズムが使われていることに気が付きます。一般的なリズムでは2小節に4拍子で●○●○●○●○と、1, 3, 5, 7拍にリズムが来ますが、ラテン系のリズムだと●○●○●○●○の1, 4, 5, 7拍になります。「タンンタタンン」というリズムです。個人的には「てっ か どん だ」(鉄火丼だ)という時のリズムに近いと思います。

ラテン系の曲を聴き始めてから、このリズムはいつから流行っていたのか、どこから来たのかずっと気になっていました。ある日、車の中でラジオを聞いていると流れてきたのが、クラシックの「カルメン」の中の一節でした⁸⁾。それを聴いた時、あっ、と思いました。「ハバネラ」という曲でした。この伴奏がまさに●○●○●○●○なのです。「カルメン」はフランスの作曲家、ビゼーの作曲で、オペラ初演が1875年です。「ハバネラ」という音楽は、キューバから船乗りによってスペインに輸入され、19世紀末までに人気の舞曲となりました⁹⁾。ヨーロッパではハバネラが「スペイン舞曲」として根付いてしまい、フランス人のビゼーがスペインの雰囲気を出すためにハバネラのリズムを用いたそうです¹⁰⁾。●○●○●○●○のリズムが既にこの頃から使われていたと知ったのは新しい発見でした。今も昔もエキゾチックなラテンの雰囲気を出すために使われるハバネラのリズムはかなり長い歴史があることがわかり、クラシックと現在のヒット曲のつながりが見出せて大変興味深く思いました。ちなみにこの「ハバネラ」の語源はキューバの首都のハバナから来ることが容易に推測できます(唐辛子の仲間のハバネロも同様)。

更に、最近のヒット曲でよくみられるのが、Cheap Thrills (2016)¹¹⁾やShape of You

(2017)¹²⁾などで用いられるリズムです。ハバネラが●○●○●○●○、1, 4, 5, 7なのに対して、4拍目と5拍目をくっつけた●○●○●○●○、1, 4, 7のリズムになっています。このリズムは2小節の中に音が3つなので、「三つ子」という意味の「トレシージョ」と呼ぶそうです。「鉄火丼だ」に対してこちらは「マー ポー 丼」でしょうか。3-3-2の拍子で末っ子はちょっと短いですが、このリズムも歴史は古いのですが、ハバネラが明らかにラテンを想起させるのに対して、トレシージョは「隠れラテン」とも言うべき、ノリは良いままラテン風味を薄くしたリズムに仕上がっています。このトレシージョを使用している曲もしばしば耳にするので、流行する曲のリズムに着目して聴いてみると面白いかもしれません。

以上、ハバネラを中心としたラテンのリズムに関しての話でした。ラテン系のリズムはハバネラだけではなく他にも魅力的なものが数多くあるので、ぜひラテン系の曲も一度聴いてみてください。

おまけ:北海道民にはお馴染みの「子供盆おどり唄」もハバネラがハマります。

- 1)
Wikipedia 「スペイン語」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/スペイン語>
- 2)
「世界のスペイン語」 上田博人
https://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cueda/kenkyu/chiri/sekai_supeingo_2000.pdf
- 3)
「スペイン語人口で米国が世界2位に、スペイン本国抜く」
<https://www.cnn.co.jp/usa/35066905.html>
- 4)
YouTube
“Bailando” Enrique Iglesias ft. Descemer Bueno, Gente de Zona
- 5)
YouTube
“Despacito” Luis Fonsi ft. Daddy Yankee
- 6)
YouTube
“La Bicicleta” Carlos Vives & Shakira
- 7)
YouTube
“La Gozadera” Gente de Zona ft. Marc Anthony
- 8)
YouTube Carmen “Habanera”
- 9)
Wikipedia 「ハバネラ」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ハバネラ>
- 10)
宮本賢二朗: ビゼー: カルメン成立過程とハバネラ -引用と構造
環境と経営: 静岡産業大学論集 第10巻第2号, 105-127, 2004
- 11)
YouTube “Cheap Thrills” Sia
- 12)
YouTube “Shape of You” Ed Sheeran



旅

旭川市医師会
JA北海道厚生連旭川厚生病院

さとう けいすけ
佐藤 啓介

1989年旭川医大を卒業した。この年、日本ではバブル景気の最盛期であったが、世界では、3月「ソビエト共産党が選挙で敗北」、6月「ポーランドの自由選挙で『連帯』の圧勝」、6月「北京の天安門事件」、11月「ベルリンの壁崩壊」、12月「ルーマニア革命」など社会主義国家で大変革が起こった。33年後の現在、ロシアのウクライナ侵攻の報道を無念に感じながらこの文章を書いている。

国家試験終了後の4月16日、成田空港で待ち合わせ、友人とヨーロッパへと向かった。航空会社はアエロフロート（ソ連国営）、最も安いヨーロッパ便を選んだ。飛行機は古い機種だったが、エコノミーの機内食にもかかわらず、キャビアが添えられたおいしい夕食であった。モスクワのシェレメチェボ空港を経由してロンドンのヒースロー空港に到着し、ロンドン市内のホテルに23時にチェックインした。17日、早朝からロンドン塔、セント・ジェームス・パーク、バッキンガム宮殿や国立博物館などを巡り、夕方にはイングランド西部の都市バースに移動した。18日、ローマン・バス、ロイヤル・クレセントなど古きローマ時代や18世紀ジョージ王朝時代の建築物の壮大さに感動した。その後ドーバーに移動し、フェリーでベルギーのオーステンデを経て、19日早朝、ブリュッセルに到着した。ベルギー王立美術館でフリーゲルの絵を鑑賞し、オランダのテーマパーク・マドローダムのミニチュアの街を見学後アムステルダムで宿泊した。20日、オランダのデン・ハーグの駅からドイツ・ケルン行きの列車に乗車した。ケルン大聖堂を見学してコブレンツに移動、ライン川を航行するフェリーで小さな子ども連れのドイツ人親子と会話しながら、河畔沿いにローレライの岩、古城などを観ることができた。下船後フランクフルト経由でミュンヘンに移動した。21日早朝より、ブーフローからロマンチック街道の終点都市であるフュッセンに向かう。ノイシュヴァンシュタイン城を見学しミュンヘンに戻る。夕方、レストランで友人と食事をしながら、4日後にスペインのバルセロナで待ち合わせとして別れ、それぞれ都市を巡ることとした。ミュンヘン駅から夜行列車に乗車しオーストリアのインスブルックに到着した。22日、朝から街を観光し、午後には列車でスイス・チューリッヒに向かった。市内ではフェスが開催されていて、大道芸や多くの屋台で賑わい、現地の人と会話を楽しみ愉快的な時間を過ごすことができた。23日、

チューリッヒ中央駅からイタリア行きの列車に乗ってミラノに向かう。途中、アルプスの山々の景観に感動しつつ、トンネルを抜けると透き通った青空と森林の美しさにとて心が揺さぶられた。ミラノ中央駅は天井が高く美しい構造をしていた。昼食後乗車した列車は地中海沿いに進み、ジェノバ、サンレモを経由してフランスのカヌに到着した。さらに夜行列車を乗り継ぎ、24日朝、スペインのバルセロナに到着。ガウディの作品、サグラダ・ファミリアでは塔の中を最上部までらせん状の階段を登った。中は狭い空間で何か不思議な感覚だった。25日、サンタ・エウラリア大聖堂を見学し、ピカソ美術館で友人と再会した。再び2日後にパリで待ち合わせとし、フランスのリヨン行きの夜行列車に乗り、26日早朝、リヨン発パリ行き的高速鉄道TGVに乗った。パリでは、コンコルド広場、シャンゼリゼ通り、凱旋門などを巡った。27日、エッフェル塔で友人と合流し、オペラ座からモンマルトルへと向かう。風車やサクレ・クール寺院をみて画家の気分を味わう。ポルドーに向かう友人と別れ、28日、ベルサイユ宮殿に向かう。ルイ14世時代の豪華な装飾品に圧倒され、庭園の美しい自然の香りとともに心が研ぎ澄まされた。パリ市内に戻り、ポンピドゥー・センターで現代アート、パフォーマンスを楽しむ。観光客が多くとても活気があった。深夜に友人と合流、29日、ルーヴル美術館では、コロネ、ミレー、ルソーの絵に時間を費やした。夕方、ノートルダム大聖堂を訪れ、モンマルトルで「子どもが描かれた絵」を探すが見つからなかった。30日、シャルル・ド・ゴール空港からアエロフロートでモスクワのシェレメチェボ空港をトランジットし、無事成田に到着。15日間の旅は終了した。

この自由旅は、疾風のごとく多くの国を訪れ、外国の自然、異文化の建造物、美術品を心に焼き付けたこと、また移動の途中、列車や観光地で多くの外国の方々ともふれあい、助けられ、貴重な時間を過ごすことができた。これらの経験により価値観が大きく変わり、『世界の広さ』を感じた2週間の旅であった。

近年、世界各地の政情が不安定で争いごとが頻発し、多くの人々が不安を抱えている。しかし、時は巡り、皆が少しずつ努力することで、そよ風に優しさを感じられる生活に戻り、自分とは異なる価値観を持つ人を認め合い、お互いを尊重し、人々とのつながりが感じられる時代が来ることを期待したい。

ロシアによる ウクライナ侵攻に思う

旭川市医師会
JA北海道厚生連旭川厚生病院

あかばね ひろみつ
赤羽 弘充

今、世の中で起きている最悪の時事問題は「ロシアによるウクライナ侵攻」だろう。この文章を書いている2022年4月初旬時点で、解決の光明はまだ見えていない。

2022年2月24日に始まったロシアの武力による現状変更の暴挙は、いかなる理由をつけようと許されることではない。北京オリンピックが閉幕し、北京パラリンピック開催直前というタイミングでの侵攻である。ロシアは2008年8月北京オリンピックの開会式の日ジョージア（グルジア）に侵攻し、2014年3月にもソチオリンピック開幕直後にクリミア半島（ウクライナ）を併合している。

思い起こせば（と言っても私を含めた多くの日本人が実体験として記憶されていることではないが）、ロシアは旧ソ連時代、日本が【ポツダム宣言】を受諾し無条件降伏した1945年8月14日以降もカムチャツカ半島、シムシュ島へ侵攻し、8/23【日ソ両軍現地停戦協定】締結後も、ソ連軍に武器を引き渡した日本に対し更なる南下を続け、8/28択捉島、8/31ウルップ島の占領、9/1国後島・色丹島、9/3歯舞群島へと上陸、占領したという忌まわしい過去を持つ国である。9/2に東京湾上のアメリカ戦艦『ミズーリ』の甲板で行われた【降伏文書の調印式】にはソ連代表も参加していたのに、である。

1941年、日本はソ連との間に【日ソ中立条約】を批准している。有効期間5年間の相互不可侵条約である。ソ連は日本劣勢と見るや、この条約を一方的に破棄して上記の如く北方領土に侵攻し、【日ソ両軍現地停戦協定】締結後も軍を南へと進め、【降伏文書の調印式】に参加していながら、その後北方四島に上陸するという紳士協定の通用しない国であった。少なくともそういう歴史を持つ国であった。ロシアという国を誹謗中傷するつもりはないが、条約の存在も進軍や占領の経過も歴史的事実である。今般行われている【ウクライナとの停戦協定】も締結されたとしても、約束が誠実に履行されるか疑念を抱かざるを得ない。

旧ソ連やロシアという国の為してきた暴挙が「国民性による」とは思いたくはない。当時の日本にも言えることではあるが、時の指導者がさまざまな手段で情報を統制し、国民を騙した結果であり、多くのロシア人には正しい心があり、戦争や他国への武力侵攻を迎合していないと信じたい。だとしても、現政権の大統領を選挙で選んだのは「現国民」であ

り、国のあり方を変えることができるのもその国の国民である。プロパガンダを妄信させられる国民の不幸とも言える。

「権力は腐敗する、絶対的権力は絶対に腐敗する」とはイギリスの歴史家アクトン卿の言葉である。そういえば、日本でも長期政権を担った安倍内閣では「モリ・カケ・さくら」や、道警の「ヤジ排除」など腐敗のにおいがプンプンするような事態が多くの公僕の忖度のもと、平然と行われてきたことは忘れてはならないだろう。腐敗を断罪できない現在の日本にも危機感を覚えるのは私だけだろうか。

戦禍により廃墟と化したウクライナの街からは、惨殺されたとみられる市民の夥しい数の死体が発見されている。それをウクライナによる「挑発・偽装（フェイク）」であると喧伝し、ロシア国民の大統領支持率は更に上昇しているという。情報戦の様相を呈する近代戦争の闇がうかがえる。

ロシアとベラルーシはパラリンピックに参加させてもらえなかった事実を真摯に受け止めるべきで、開会式でのパラリンピック会長の「戦争と平和」に言及した音声と手話通訳を停止した主催国中国にも危うさと不安を禁じ得ない。そして北京オリンピックのフィギュアスケートで活躍した「妖精のような」ロシアの女子選手が、人間性を否定されないで活躍を続けることができるような国になることを願ってやまない。

日本医師会は世界医師会に対してウクライナの医療支援のため1億円の寄附をすでに行っている。日本医師会のホームページによれば、「タスクフォース・ウクライナ医療支援活動」や個人による支援募金活動も展開している。450万人とも言われる避難民に対して、政府専用機で20名の避難民を受け入れたという焼け石に水のような援助に比べれば格段実効的な支援だと思われる。

また、日本医師会は各地の医師会と連名で『ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明』を發出し、「恒久の平和と自由を願う世界の秩序を踏みにじるものであり、決して認めることはできない」「医療の中立性と人権は絶対に尊重されなければならない」と表明している。

ロシアの為政者に世界中からの非難の声が届くことを祈るばかりであるが、ロシア兵ひいてはロシア国民の良心に訴える手段があれば、最も有効な停戦への道筋になるように思われる。

等頻度房室解離

札幌市医師会

(公財)北海道労働保健管理協会 札幌総合健診センター

なかむら かずひろ
中村 一博

私が健康診断の心電図読影にかかる時間は1枚当たり2分以内です。読影の枚数が多いので、考えこむ暇はありません。それでも、1か月に1枚くらいは考えこんでしまう心電図が出てきます。

右の心電図は当センターを受診した、30代女性のもので、自覚症状はありません。心電図を最初から追っていくと、RR間隔は一定ですが、P波とQRSがくっついたり離れたりして落ち着きません。これは房室結節の伝導速度が変化しているのではなく、心房と心室が別々のリズムで収縮しているためです。P波とQRSにはつながりが無く、心室は房室接合部からの刺激で収縮しています。この状態では心房と心室は電気的に解離しているので、房室解離と言います。P波がなぜQRSとくっついたり離れたりするのかというと、洞結節の興奮発生頻度と房室接合部の興奮発生頻度がほぼ等しいためです。このような房室解離を等頻度房室解離と呼びます。

房室解離が出現する原因として以下の3つのメカニズムが考えられます。

- ①洞調律が遅くなり、その発生頻度が下位中枢（房室接合部や心室）の興奮発生頻度よりも少なくなったとき。
- ②下位中枢の興奮発生機能が亢進し、洞調律よりも速くなったとき。
- ③両方が組み合わされた状態。

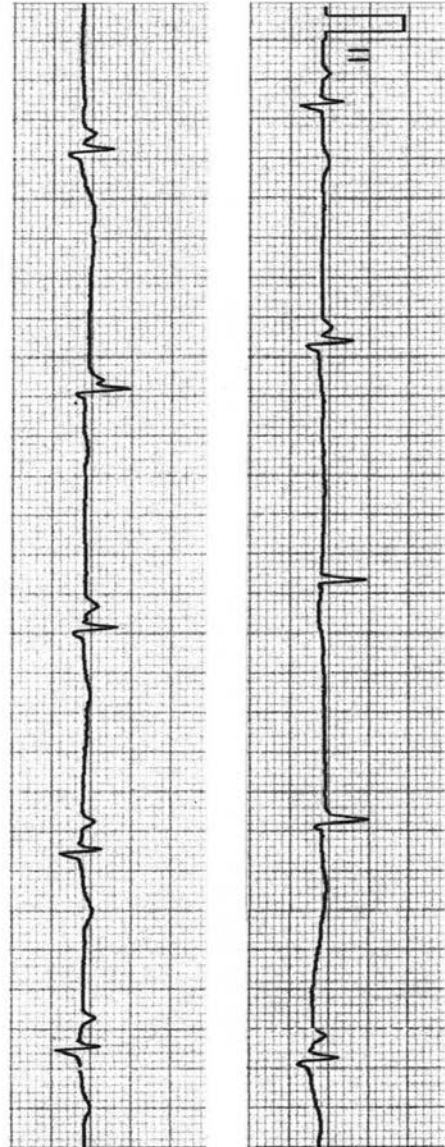
さらに心電図を追っていくと、最後の2拍でPQ間隔が0.16秒と一定で、RR間隔が少し短くなった波形に出くわします。この2拍の部分では心房の興奮が心室に伝わっているのです。P波とQRSがつながったためPQ間隔が一定となり、RR間隔が短くなり、心室は洞結節からの刺激で収縮しています。このように、正常の房室伝導も認められるので完全房室ブロックではないことがわかります。

右の心電図を初めて見ると、まるでP波が迷走しているように感じます。一度、上記のように波形の出現メカニズムについて理解しておけば、読影時に慌てなくて済むと思います。この心電図では洞調律が50bpm以下まで遅くなり、その発生頻度が房室接合部の興奮発生頻度よりも少なくなったことが房室解離の原因と思われれます。若い女性がなぜ洞徐脈になるのか気になるところです。そこで心電図の判定は「房室解離：要精密検査」としました。

心電図の読影にはパズルを解くような楽しさがあります。初心者のうちはパターンで読影する方が、

混乱が少なく良いのですが、心電図を患者のために役立たせるには、病態を考えることが大切だと思います。なぜ、そのような心電図になるのか、異常所見を見つけたときに、そこからどうするのかを考えることが、中級者からの読影上達のコツなのかなと思っています。

(右下からの続き)



(左上へ続く)

三つ子の魂

帯広市医師会
協立病院

さとう ゆきひろ
佐藤 幸宏

かれこれ50年も前のことですが、大学3年の解剖学の組織学実習の時でした。時間内にたくさんの組織のスライドを見なければならなかったので、必ず実習前にテキストを確認してみるべきものをチェックして臨みました。普段見ることのない微細な構造がピンクとブルーの濃淡に染められて美しくもあり、テキストには的確にその特徴が指摘され生理学的意味も付加されて、生命の緻密さと神秘と先人達の偉業に感動しながら実習をこなしました。

脳の白質の表面構造を見たときだったと思います。同じような細胞で視野一面が埋め尽くされていて、テキストによるとこれが6層構造に分けられるということです。粘膜の4層構造など誰が見てもなるほどというような理解しやすい代物ではなく、テキストには細胞の特徴や層の区別の方法など書いてありますが、なんぼ見てもそうは見えません。見えたふりをするのも自分を偽った気がするので、ちょうど巡回してきた教授に「どう見たら6層に分けられますか？」と質問したところ、教授は「自分が見たものが真実なんだよ。6層に見えるというのは人がそう見えたからそう言っているだけで、目の前に見えるのが真実だと思い切る自分を信じる信念こそが大切なんだよ」と言って行ってしまった。

何周か回った後教授は私の席にまた戻ってきて「そうはいっても、6層だと言った人の根拠になる研究や過程や考え方もある訳だから、なぜそう言ったのかそちらに注意を払う必要もあるんだよ」と言ってまた行ってしまった。

組織学の勉強よりも何だか、医師として育つ時の基本的な所で何かを教わったような気になって、今もあの時のやり取りは記憶に残っている。

釈迦に説法かもしれませんが、複合性局所疼痛症候群（CRPS）は、正常人には理解しがたい痛みや苦痛が生じ、現状の解剖学、生理学では説明の難しい複雑な病態であること、治癒を担保できる確定的治療法が確立されていないことなどの厄介な病態でその診断治療はなかなか難しいものがあります。

国際疼痛学会（IASP）によって下記の2タイプに分けられています

タイプⅠ（RSD）：反射性交感神経性ジストロフィー～明確な神経損傷がないのに発症し難治性の疼痛を訴えるもの。

タイプⅡ（カウザルギー）：～創傷、脱臼、骨折などによって神経損傷が発生して難治性の疼痛を訴えるもの。

上腕骨骨折で約3年間の治療が成されて、結局最

終的にCRPSの診断が下った若い女性の患者さんがいました。骨折はしっかりと髓内釘で固定され骨癒合も良好でしたので初診医では1年半の治療の後、骨折後神経障害の診断で症状固定となり後遺障害が認定されました。しびれ痛みが続いていた患者は2件目の病院に行き治療の継続を希望し治療を受けましたが、しびれ痛みは続き最終的にCRPSの診断の下症状固定になり2度目の後遺障害が再認定されました。

患者は2回目の後遺障害をもとに民事訴訟を起こし損害賠償請求が発生しました。これをめぐって被告からCRPSの診断に疑義が出され、CRPSの診断根拠が論議されました。

異なった後遺障害等級が2度認定されたことから、債務者から賠償請求額を巡ってその解釈に争いが生じた訳です。

争いの争点となったのはCRPSと診断した医師の意見でした。

肩、上前腕、手首、手指の激しい痛みは橈骨神経単独障害の場合の範囲を超えた強い難治の痛みのように、橈骨神経のみに原因を局限して説明のつくものではないが、だからといってそれは橈骨神経損傷によるものではないとも言いきれません。故を以ってtypeⅠ、typeⅡのどちらにも当てはまることの診断理由を述べたのです。認定機関から認定理由を明確にするためにはtype分けする必要があるためtypeⅠですかtypeⅡですか？と二度の照会がありましたが、主治医は頑として2回ともtypeⅠ、typeⅡのどちらにも当てはまると回答したのです。案の定被告からは「typeⅠとtypeⅡが競合することはあり得ないことであって、主治医の診断どおりとするなら医学的には認定不能な筈」との反論が出されました。

歳ばっかりとって、だんだん何もできなくなっていく身ですが、公的な立場で意見を求められることも度々あって、今回の事例についても意見を求められました。

幸い、「最近の研究では、症状で分類するとこの2つの病態は区別ができないこと、神経損傷の有無を明確に判断できるバイオマーカーがないことから、神経損傷の有無で分類することに対して否定的な意見も存在しています」という記述に巡り合うことができ、そういう考え方もできるとの意見を回答することができたのですが、その後の行方がどうなったかは不明です。

ただ、ここで話したかったことは、大学3年の組織学実習で聞かされた教授の一声が、この度の主治医のかたくなな態度と重なって、「自分の見たものを信じて信念をもって述べることは、やっぱり結果どうであっても後悔しないし、すがすがしい気持ちでいられるよナ」と、時を超えてあの時を思い出しました。という話でした。

三つ子の魂百までもというところでしょうか。

Fancy Fragments of "Fantasy" Fitted For Feasible Facts Epilogue — Find False Flag —

札幌市医師会
華岡青洲記念病院

はなおか けいいち
華岡 慶一

文章を書くことを、ブレイズ・パスカルは、「考えることである」と言い、フランシス・ベーコンは、「人を確かなものにする」と言い、デレク・ハートフィールドは、「自分とまわりの事物の距離を測ること」だと言う。パスカルは帰納的懐疑論者として、デカルトとは違った意味でフランス人らしいし、ベーコンはいかにもイギリス経験論の始祖らしい。だが、私には最後のハートフィールドのフレーズが一番しっくりくる。その理由は——知る限りの情報からすると——創作者の愛読書や親子関係に類似点が多いと勝手に思っている。今回、自分の発想の変遷が乱読していた「世界の名著」「世界の歴史」を介した哲学史、社会学史のなぞり（西欧中心の気紛れなアンソロジーとして）のようで面白かった。大陸合理論、イギリス経験論、ドイツ観念論、ヘーゲルの進歩史観とマルクスの唯物史観。実存主義、構造主義、ポスト構造主義と表面的ではあったが、その時代の問題意識の推移を追いかけてきた。そしてドゥルーズ・ガタリの実践の真似事に至った。国内でも社会学者の宮台真司（同学年で、面識はないがある時期、同じ空間を共有していた）の言説には——好き嫌いはあるだろうが——同年代の人間の悩める感性を刺激する共通の源泉に曝露した感覚がある。その経験を通して、重要なのは場所（フィールド）ではなく——人から与えられるものに頼るのではなく——自分の心と行動なのだと悟った。自分の心の内へ向けた視点をズームアウトして、個体を離れ、視野を広げ、アイロニーの感度を上げ、複眼、俯瞰的に表現をすれば——注目大家（authority）の抽象（abstraction）を注視（attraction）して注釈（annotation）してきたが、所詮は、自分中心で、人の忠告（advice）なんて注意（attention）しないくせに、注力（action）してから言え——と気付いた（観測した）時に過去の状況が確定した（量子ベイズ理論）のではないか。

今こそ、まさに意識は「Je pense, donc je suis」「Cogito ergo sum」となった（量子脳理論）。

最後に私にとっての「書くこと」について。

個人と世界（社会）の現実との葛藤の精神史から、自分の中にフラクタル的状况再現を試み、検討すること、それが私の読書、思索であった。一方、書くことは、その思索の先にある自分だけの叙事詩・叙情詩を書くことである。

書くことの意味とは、書くに値することを見つけて作業することによって経験したことを記号化することにある。仕事で出合う科学論文でも同様の記号的表象化がなされる。当然、文字の向こうに実験、試験の意図、目的の本音が透けて見える。だからこそ本質を追いかける気概が問われる。最初は、他人

にとっては無価値な、ただの個人の好みで始まった着想でも、そこに共有すべき真実があるなら、それを抽出して、言語的に再現できる証明をしなければならぬ（経験論的帰納法）。多くの天才は、乱暴に言えば、答えが先に浮かんでいて、それが相応しい問題を考えるのに多大な時間と労力をかけている。アインシュタインの「ベルンのひらめき」は相対性理論には相応しかつたが、量子論（確率解釈）ではなかった（神はそのサイコロは振らなかった）だけだ。

今日、読むに値する科学論文を書くには、ひらめきだけでなく、多大な労力と資本（運を含めた）を必要とする。

今こそ、医学研究における科学の底力（本質）が問われている。だからこそ、世界では、選択と集中が起こっている。それは、未踏を旅する宇宙飛行士にとっての誤謬——研究結果が惹起するかもしれない——は、即、重大な結果を招くからだ。

私も、かつては、駄文の集積の先に暇潰しはあっても傑作はないと思っていた。

しかし、傑作は決して名文集ではない。自分の領域でも最近、ガイドライン（名作であるべき名文集）のコペルニクスの転回がESCで起こった（いつも事件は欧州で？）。私にも確信はあったが名作を書く実力（実行資本）がなかったために、発信活動に留まっていた（声は大きかったが）。一方、米国では利害の壁は厚いが、時期到来と見ると変わり身は早い。一気にあらゆる資本の選択と集中が行われる。日本では概念はよくても（名文）実行資本が伴わないために駄作化していくことは、なにも最近になって始まったことではない。大東亜戦争もその一例である。駄文（独りよがりの論文）も、本当のこと（言語論的には偽旗の否定）とは何かを考える一助になる意味はあるかもしれない。しかし、自己拘泥——実行資本の裏付けによる開発と改良を伴わない——は、微笑ましいが痛々しい。ならばいっその事、自家撞着に至り、駄文の名作を書く愚かな賢者の不在証明となることも、それ自身の存在意義になるかもしれぬ。僕の中で、このエッセイの意味はそんなところだ。自分に留まらず、人を巻き込んで仕事をするからには、自分の思考理由と過程を書くことにした（吟味可能な表明として）。書かれたものからの循環論法などの詭弁の発見は分かる人には容易だ。さらに、書くことで自分を俯瞰的に見て、客観視して、他者に対して上から目線の同情や独りよがりの救済をやめた。だって、他人と同じ絶対現実はこの私の世に存在しないのだから（エヴェレットの多世界解釈）。

おかげで「世界は、見かけに騙されてはいけない」と悟った。……果たして、私たちは、進歩してきたのであろうか。ロシアのウクライナ侵攻の報道を見ながら、あの真珠湾奇襲の背景との類似を感じた。予告による抑止（deterrence by disclosure）は与太話となった（decline）。「ソーニャ（慈愛の聖母の象徴）に出逢ったと思ひ込んだラスコーリニコフ（ラザロの復活の象徴）」こそが、誑惑しやすく危険だ（deceivable and dangerous）。

今こそ——Find false flags (fakes) —— 焚き付け（build a fire）て、退路を断たせた（burn the bridges）者の存在を。

寺山先生

札幌市医師会
手稲溪仁会病院

ふるた やすし
古田 康

なぜ耳鼻咽喉科を専門としたかについて、研修医などからよく聞かれることがある。私はただ一言、「寺山先生」と答えることにしている。

寺山吉彦先生と話をしたのは、私が医学部6年生のポリクリ（外来実習）の指導教授としてであった。患者をひとり一緒に診察した後の合間に雑談となり、お互い小樽市出身で、高校の先輩後輩（旧制小樽中学校、小樽潮陵高校）であることが分かった。今後の進路の話となり、「古田君、入局したら、臨床でも研究でも何でもやらせてあげるよ」と勧誘を受けた。根が単純、世間知らずの若者であった私は、迷わずに翌年耳鼻咽喉科医としてのキャリアを開始した。当時は研修医制度がなく、ストレートに専門診療科に進めた時代であった。

寺山先生には、短くはあったが定年退官までの4年間の指導を受けた。臨床は“何でも”はやらせてもらえなかったが、仕事についてはしつこいぐらい文献を調べるなどして、勉強して臨むこと、一つ一つのテーマをコツコツ継続することを教えられた。さらに退官の時に、病理学講座の新任教授であった長嶋和郎先生を紹介され、約束通りに基礎研究を経験するチャンスを得た。

寺山先生は退官後、手稲溪仁会病院の初代耳鼻咽喉科部長に就任され、大学の雑務から解放され、臨床と医学情報収集に専念された。その成果として、ブロー液という画期的な点耳治療薬を文献から発掘し、手稲溪仁会病院薬剤部で調整し、本邦に普及させた[1, 2]。驚くことに、75歳を過ぎた後期高齢者となってからである。

私は後任の犬山征夫教授、福田諭教授のご理解をいただき、10数年間大学勤務を続け、自分なりのテーマを持ちつつ仕事に打ち込むことができた。その間も時々寺山先生は大学に立ち寄られ、「古田君、この論文読んだか？面白いから読んでみな」など、弟子の仕事をフォローしつつ、絶え間なく文献検索を続けておられた。

縁あって2007年に手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科部長として赴任することになった。寺山先生は既に顧問を退職されていたが、月に1度医局に来られ、英文雑誌の最新号に目を通し、興味ある論文をコピーされていた。また、80歳を過ぎてからランチョンセミナーで講演されたことをうれしそうに話されていた。享年88歳、北大病院で最期を迎えた時、枕元に医学雑誌を取り寄せていたと伺い、さすが寺山先生

と感銘を受けた。真にアカデミックマインドを保ち続けた師であった。

私は「Work hard, enjoy life!」を科のスローガンとして、良き同僚とスタッフに恵まれ、仕事も楽しんで続けてきた[3]。私の机の引き出しには寺山先生在任中の職員カードが残されている。このカードを見るたび、勧誘を受けた時のことを思い出す。

「古田君、入局したら、臨床でも研究でも何でもやらせてあげるよ」

私の選択は間違っていなかった。その通りにやってこられたのだから。

はからずも4月から院長職を任せられた。

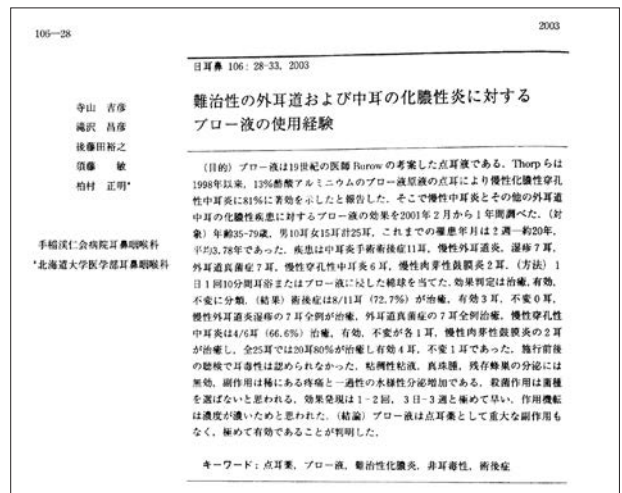
「寺山先生、約束がちょっと違いますか？」

メリハリをもって仕事に励み、生活を心から楽しめる職場を目指したい。

[1] 寺山吉彦、他：難治性の外耳道および中耳の化膿性炎に対するブロー液の使用経験 日耳鼻 106:28-33, 2003

[2] 寺山吉彦：ブロー液の不思議 耳喉頭頸 76:622-623, 2004.

[3] 古田 康：原著にあたれなかった一例 JOHNS 29:1059-1062, 2013.



文献 [1] の 1 ページ目

灯された明かり

旭川市医師会
道北勤労者医療協会

みやもと かずとし
宮本 和俊

さて私こと 2020年3月に旭川医科大学外科学講座 小児外科科長・教授(病院)を定年退職いたしました。退職後は表記職場に入職し、子ども便秘専門診療や、在宅医療、職場健診を行っています。そんな秋のある日に1通の手紙が届きました。大学で20年以上も診ていたサッチャン(仮名)からでした。金色の羽根模様で縁取りされた封筒と便箋に、丁寧に手書きされた文字が並んでいるなか、不意に“結婚”という二文字が目飛び込み、大きな喜びに微かな不安が交錯したのでした。

今から30年ほど前のこととなります。新生児サッチャンが小児外科に緊急搬送されてきました。診断は巨大臍帯ヘルニア。私の師であった鮫島夏樹教授は色素塗布療法を選択し、生後3ヵ月で腹壁を閉じようとしたのですが左右の腹壁筋は寄らず、皮膚のみで被いました。その後サッチャンはお腹に堅く“さらし”を巻き腹壁を補強し生活していきました。その数年後には鮫島教授が退職され、以後は私が診療を引き継ぎました。

子どもにとって腹巻生活は不自由なうえ、腹壁が弱いため肺炎を繰り返したことから、5歳の時に腹壁閉鎖術(腹壁欠損孔周辺筋層を“2層に分け1層は翻転させ孔を塞ぐ”)を行いました。その後サッチャンは順調に成長し介護士となります。しかし22歳になり胆石症を発症し、手術は困難が予想されたため150km離れた旭川に戻り手術となりました。手術では癒着が強く開腹だけでも時間を要しました。術後には将来起きうる腸閉塞や緊急帝王切開などへの対応も危ぶまれると説明しました。

その後サッチャンは再び働き出しました。以下は彼女からの初メールです。

再び働き出しもうすぐ6年目になりますが、何とかかんとか奮闘しています。先生のおかげで、今ではボルダリングやチアリーディングを趣味にできるくらい元気になりました。術跡を見る度に色々な葛藤をしたり、22歳の時には絶望感に襲われたりとたくさんの悩みを経ましたが、今は本当に生きていられることを嬉しく感じます(˘)

……人生の節目には必ず先生のことを思い出します。

次はお嫁に行く時でしょうか…その時は旦那さんに会っていただくのがわたしの一番の夢です！

一行一行にドキドキしました。葛藤・絶望感・悩み……などの言葉が気になりましたが、何とか奮闘、趣味、生きていられることが嬉しい……などの言葉に癒されました。それにしても、よりによってボルダリングって過激です。腹筋は大丈夫なのでしょうか。

そしてそれからさらに3年たち、以下が今回の手紙です。

実は昨年〇〇月に入籍し、今年の〇月に結婚披露宴を催しました。緊急事態宣言下で開催を迷いましたが、互いの父の体調が芳しくないことから延期はせず予定通り行いました。

本当は私の恩人である先生を来賓として呼び出したかったのですが、コロナ禍に加えて先生のお立場を考えると、お声かけは控えさせていただいた方が良いのではと判断し、写真とお手紙をお送りさせていただく事にいたしました。

今はパートをしながら旦那さんと平穏な毎日をごしております。年に2~3回入院することもあります。大事に至らず来られています。

流行に乗ってコロナにも罹患しました。……(涙)

主治医の先生と相談し子どもは諦めましたが、その際「次に生まれ変わってまた夫婦になった時に、子だくさんの家庭を作ろう」と、旦那さんが話してくれたので今回は夫婦二人で仲良く暮らせたら、と思っております。いつかご紹介できる機会を設けられたら、是非会って下さい。先生、お体に気をつけて何時までもパワフルにご活躍されることを心より願っております。

ついに結婚とは、おめでとう！そして、この手紙全体から伝わる誠実さと若い意気込みが心にしみこんできます。若いカップルが結婚にあたり、複雑手術後の母体の命を守るため、そして生まれてくるかも知れない子どもの命の危険を避けるために子どもをつくらぬ覚悟を持つに至るとは、本人同士のしなやかでしっかりとした考えと、その素敵な結びつきに感動すると共に、そのような二人を育てられた各々のご両親に頭が下がる思いがしました。二人にはこの後、子どもがいないことだけでもさまざまな人生の試練が待ち受けていることが心配されます。しかし、これこそまさしく老爺医心というものでしょう。二人への門出の言葉としてこう言い換えましょう。“今ここにある幸せを大切にしながら、一つ一つ話し合い人生を乗り越え、そのたびに人として強くなり、お互いの絆も強くなっていきますように”と。

最近、このように長く診てきた小児外科手術後の子どもたちからのメールや手紙が、私の余生に明かりを灯してくれていることに気がつきました。残り少ない人生かもしれませんが、何とか子どもたちに導かれるように生きていきたいと思い日々を過ごしています。